

第2回全体会（H30.12.6）における主な意見

NO	委員名	主な意見	対応方針・対応
1	猿渡委員	<p>作品を展示したい方と展示スペースのある店舗や施設などとのマッチング、また、コーラス等技術・知識を持っている方とそれを必要とするところとのマッチングなどを個人的なやりとりではなく、区が紹介する仕組みができればよいのではないか。</p>	<p>知識や技術の提供、作品の展示をしたい、それらを受けたいなど相互のニーズをマッチングし、まなびを通しての交流が生まれる仕組みづくりについて検討していく。</p>
2	柴田委員	<p>生涯学習ルームのお世話をされている方が悩みを気軽に相談することができるようにしたり、また生涯学習推進員に悩んでいることをつないでいただけないか。</p>	<p>各地域の生涯学習ルームに関する悩みごと等があれば、お気軽に区の担当までご相談いただきたい。相談内容については、随時、生涯学習推進員連絡会や役員会と情報共有に努めたい。</p>
3	山田委員	<p>生涯学習推進員の養成講座は全部で5回行かなければならず負担が大きいと聞いている。</p>	<p>生涯学習推進員の養成講座は、事前研修で5回の研修を受講していただき、生涯学習推進員としてのスキルを身につけていただいたうえで委嘱が行われるものとして大阪市で決められている。</p> <p>生涯学習推進員として必要な知識を身につけていただくものであり、何卒ご理解いただきたい。</p>

NO	委員名	主な意見	対応方針・対応
4	田中 (潔) 委員	3月の鶴見区生涯学習ルームフェスティバルの会場の照明が暗いので、作品が見づらい。もう少し照明を明るくすることはできないか。	鶴見区生涯学習ルームフェスティバルは、区民センター大ホールで舞台発表と展示を合わせて実施しているが、舞台発表を観易くするため舞台の照明を明るく展示側（客席）の照明を落としている。いただいたご意見は、生涯学習推進員連絡会とも共有し、対応策について検討している。
5	吉江委員	区民ギャラリーについて、一般の方が自由に入って見られるように、1階にできないか。	区民ギャラリーについては、平成31年度に1階への移設に向け検討している。
6	山口委員	区民ギャラリーについて、例えば区役所2階より見る機会の多い図書館の展示スペースが使えないのか。	
7	吉江委員	大阪市が実施していた高齢者俳句大会のように、俳句・川柳・短歌を高齢者だけでなく幅広い世代が発表できる機会を検討してほしい。	俳句や川柳については、老人福祉センター等の関係機関とも連携・調整しながら企画検討していきたい。
8	山田委員	ステップファミリーを対象に児童虐待に関する問題が起こらないように、婚姻して家族になるときに、リスクの話をする機会を持ってはどうか。	各関係機関・団体と連携を図りながら、ステップファミリーを含む相談支援の実施や相談窓口の周知に努めている。 その一環として、今年度、区内で子育て支援に携わっている多くの団体で構成する拡大子育て支援連絡会を開催し、参加者間で区内の子育て支援の状況を共有するとともに、どうすれば支援を必要としている方に支援が届くようになるか、意見交換を実施した。 また、ステップファミリーを対象とした講座の開催など、支援施策について、検討を進めていく。

NO	委員名	主な意見	対応方針・対応
9	久貝委員	鶴見区内の待機児童の状況はどうなっているのか。	<p>保育所への入所条件を満たしているのに、入所できない児童数は平成 30 年 4 月 1 日現在 101 名（入所保留児童数）となっている。そのうち、特定の保育所等のみの希望者数を引いた人数が 6 名（待機児童数）となっている。</p> <p>入所保留児童数はまだまだ多いことから、入所総枠の拡大に向け、取り組んでいく。</p>
10	田中 (潔) 委員	<p>今年は、6 月の大阪北部地震が発生し、実際に災害に対する対策も取られていたと思う。</p> <p>実際の災害時にどのように対応できたのか反省点や改善点等の検討が必要で何らかの形で会議も行うべきではないか。</p>	<p>大阪市として危機管理室主導のもとワーキングチームを立ち上げ課題整理を図っている。検討結果が公表され次第、災害救助部長・防災リーダー隊長を交えた、地域防災連絡会でお示ししたい。</p>
11	高田委員	<p>自然災害（台風）に対する区の対応の検証作業は必要だ。実際に私の町会でも瓦が飛んだ事例もあり、町会単位で被害状況などを区として調査する必要があるのではないか。</p>	<p>平成 30 年台風 24 号での区職員による避難所開設・運営に対し従事職員へのアンケートを実施・検証した。結果、避難所となる体育館への通路の照明や鍵の不備などの課題が浮き彫りになり、現在、学校等と協議をしている。</p> <p>全 12 地域の検証結果については、取りまとめのうえ平成 31 年 2 月 12 日の地域防災連絡会で報告した。</p> <p>なお、12 月 6 日現在の被災証明の発行件数は 511 件である。</p>

NO	委員名	主な意見	対応方針・対応
1 2	山口委員	地震当日、小中学校の対応がバラバラだったと思うが、検証されているのか。	<p>大阪市立の各校園については、平成 29 年度に災害発生に備えて「大規模災害初期初動マニュアル」が作成されている。</p> <p>また、平成 30 年 6 月 18 日に発生した大阪府北部を震源とする地震をうけ大阪市教育委員会より平成 30 年 10 月 4 日付で「非常変災時等の措置について」が大阪市立の各校園あてに通知され災害時の臨時休業措置などの基準や対応が指示されたことにより各校園の対応の統一が図られた。</p>
1 3	米島委員	<p>区内一斉防犯パトロールの参加者が減ってきているが、区全体の状況を把握されているのか。</p> <p>また、自転車二重ロックの推進は、前年に比べ自転車盗対策の効果が出ているのか。</p>	<p>区内一斉防犯活動の参加者については、区全体として見ても減少していることは認識している。引き続き、参加者増加に向けて町会長会議をはじめホームページや広報紙を通じて広く呼びかけていく。</p> <p>自転車盗については減少傾向にあるが、自転車盗などの啓発のぼりを 7 本設置するなど引き続き積極的に取り組んでいく。</p>
1 4	岡出委員	区内一斉防犯パトロールに取り組まれているが、犯罪発生を抑止効果は出ているのか。	<p>防犯活動を一斉にすることにより、鶴見区は防犯対策が確立されていると犯罪者の意識に植え付けることを目的に区内で一斉に実施している。</p> <p>区内においても街頭犯罪件数は減少傾向にあり、抑止効果も出ており、引き続きの取組みが必要である。</p>

NO	委員名	主な意見	対応方針・対応
15	伴委員	<p>今年度は、避難所開設運営訓練に取り組むことができ、それぞれが災害を自分のこととして考えられるようになった。継続して支援してもらいたい。</p>	<p>危機管理室をはじめ、区役所防災担当も全面的に支援を進めている。</p> <p>今年度取り組めなかった地域についても避難所開設運営訓練の開催に向け引き続き取り組んでいく。</p>
16	久木委員	<p>地域包括支援センターがどういう動きをしているのか見えてこない。成果報告だけではなく、できていない部分を検証する方法のスキームを立ち上げるなど具体的な考えはないのか。現場で非常に困っている事への対応などについて検討してはどうか。</p>	<p>地域包括支援センター事業の運営については、区が事務局となって協議する「包括運営協議会」で成果報告だけでなく課題の洗い出しも行い、常に改善に努めている。</p> <p>対応が難しい事例として、地域ケア会議などで見えてくる「地域課題」、例えば、認知症、虐待、こどもの貧困などが複合する世帯については、これまでの取組みに加え、平成31年4月に設置される「各区単位で関係する部門が集まって検討する会議体」（総合的な相談支援体制）を積極的に活用し対処していく。</p> <p>包括支援センターの役割が分かりづらいとの声もあるので、引き続き業務内容を周知していく。</p>
17	前川委員	<p>あいまちだよりを回覧にして全戸に配布すれば、会員も増えるのではないかと。広報紙も各戸に配布しているが、広報紙の記事より大きなチラシの方が良いと思う。</p> <p>また、区政会議で〇〇に関するチラシを全戸に配布してほしい、と決めたら、そのとおりになるのか。</p>	<p>広報紙を読む区民の割合は多く、さまざまな広報媒体の中でも情報発信力は極めて高い。チラシの全戸配布も効果的ではあるが限られた予算と費用対効果の観点から広報紙で特集記事を組むなど紙面を有効に使い区民の関心を高められるよう工夫して取り組んでいく。</p>

NO	委員名	主な意見	対応方針・対応
18	久木委員	<p>例えば、スケアードストレートは鶴見区で真っ先に取り組んだのに情報発信力が弱い。もっとテレビや新聞で取りあげてもらったらどうなのか。情報発信をもっとできないのか。</p>	<p>マスコミが取りあげたくなるようなフレーズ(例えば、大阪市で初めての実施、など)を報道資料に積極的に使用するとともに、引き続き、マスコミとのネットワークづくりに取り組み情報発信力を高めていく。</p>
19	吉江委員	<p>広報紙をもっと区民の皆さんに手に取って読んでもらうために区民の俳句や川柳などの投書や、大阪市の将棋大会で優勝したなどのまちの話題を広報紙に掲載したらどうか。</p>	<p>これまでも、広報紙でスポーツ活動・文化活動で優秀な成績を残された個人・団体に関する記事を掲載している。また、毎号こどもの写真をコメント付きで紹介する「つるみっこ写真館」は非常に好評である。引き続き、取り組んでいく。</p>